

ローマ字学習資料

(1) ローマ字のしくみ

国語の教科書 140 ページのひらがな五十音表を見てみましょう。ローマ字は、アルファベットを使ってひらがなの音を表しているのです。

あ行の音は、1 字で表します。「あいうえお」→「a i u e o」

次に、か行の音をのばして言ってみましょう。「かー(あ)」「きー(い)」「くー(う)」「けー(え)」「こー(お)」「あいうえお」がかくれていることに気づきましたか。

ローマ字では、「か行」を表すとき、「k」と「a i u e o」を組み合わせます。

たとえば、「か」は、「k」+「a」→「ka」だから、「かきくけこ」は「ka ki ku ke ko」ですね。

同じように、下の表でさ行から、わ行までかくにんしてみましょう。

【ローマ字表】

		あ段	い段	う段	え段	お段
		a	i	u	e	o
あ行	a	a	i	u	e	o
か行	k	ka	ki	ku	ke	ko
さ行	s	sa	si	su	se	so
た行	t	ta	ti	tu	te	to
な行	n	na	ni	nu	ne	no
は行	h	ha	hi	hu	he	ho
ま行	m	ma	mi	mu	me	mo
や行	y	ya	(i)	yu	(e)	yo
ら行	r	ra	ri	ru	re	ro
わ行	w	wa	(i)	(u)	(e)	wo

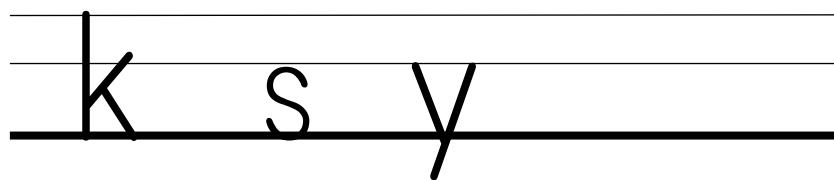
※くわしい表は教科書 127 ページにあります。

(2) ローマ字の言葉

上の表から、字をえらんで作ります。「くるま」→「ku ru ma」

(3) 文字の書き方

文字の高さにこまっている人が多いようです。とくに、小文字は、高さがそれちがうのでこまってしまいますね。下に、高さがちがうものをまとめましたので、さん考にしてください。



上から、3 本目の線がきじゅんの線です。この線を地面としてイメージして、背が高い文字や地面にうまっている文字があると考えてみるといいかもしれません。

せの高い文字（上に出る）	きじゅんの線の上だけ使う文字	地面にうまっている文字（下に出る）
k h b d	a i u e o s t n m r w z	y g p